



かごの草を捨てに草捨て場に行ったら、草取りをしている2年生のお友だちがいました。

そこでの会話が楽しかったので紹介いたします。

**2年生 A さん:**「校長先生、いくつ？」  
**わたし:** 「〇〇歳だよ」  
**2年生 B さん:**「誕生日あるの？」

**おっと、年を取ると、誕生日というものは来なくなるのか！？**  
 ならば、もう年は取らないということかしら……。ラッキー!(^^)!

このように、いつも子どもたちの発想には驚かされます。

子どもたちにとって(たぶんですが)、誕生日には、誕生祝いを行うのが当たり前だと思います。けれど、きっと、お父さんや、お母さんや、おじいさんや、おばあさんの誕生会は多分、やっていないのかなあ(たぶんですよ、わたしの推測ですが)。

だから、

**『誕生会がない=誕生日はない』** こんな法則が成り立っているのではと思うのです。

(このような間違った覚え方をしているとしたら、まずいまずい。ぜひとも、大人の皆様の誕生祝いも盛大にやりましょう)

**朝の横断歩道で、心温まるとき**

それはこんな風に花を子どもからもらうとき

そんな私の手元を見て、こんな素敵なことばを掛けてくれます。

**「校長先生、きれいですね」**(と、思えるあなたの心もきれいです)。

**「いつも、花もらっているね」**(と、気づけるあなたの観察力、素晴らしい)。

**「花をもらえるなんてうらやましい」**(と、素直に口にできる M 先生。きっと先生にもステキな贈り物が届きます)。

